

第156回 飛騨市新型コロナウイルス対策本部会議

日時:令和4年5月25日(水曜日)8時30分~9時27分

場所:本庁舎2階 会議室

1. あいさつ

- ・飛騨市の感染者は少なく推移しており、直近では週4人と極めて少ない。
- ・県下全体では4月の最後の週と同じ、ゴールデンウィーク前と同水準。
- ・岐阜県下の状況は高止まり状態、全国的には減少傾向。
- ・今後はこのくらいで推移していくのではないか。
- ・最近の傾向として家族感染が多い、子ども由来で家族全員が感染するケースが多い。
- ・一方で家族が感染しないケースもある。おそらくワクチンの効果ではないか。
- ・感染を広げないためにはワクチン接種が重要である。
- ・ワクチンの3回目接種が終わり、今後次第にワクチンの発症予防効果が落ちる夏頃の動きを注視する必要がある。
- ・今後は高止まりが続き、誰が感染しても不思議でない。
- ・会食の機会が増えてくるが、マスク会食はもちろん、会食前の抗原定性検査をお願いしたい。
- ・会食ではマスクしていても換気が悪いと防げないケースもある。

2. 各種施策に対する各部からの実績報告及び連絡事項

【総務課】

- ・新型コロナウイルス感染症に係る職員の対応等について
- ・職員の感染(3例)

【企画部】

- ・総合相談窓口の対応状況について(4件)
- ・市ホームページ新型コロナ「困りごと」お聞かせください Q&A(0件)
- ・抗原定性検査キットの保有状況について
- ・地域活動団体用検査キット配布について(累計6件)
- ・直近1週間の陽性者数 4名
- ・マスク着用の取り扱いについて市民周知
- ・「飛騨市新型コロナまん延警報」特別警報発令中(3/26~)
- ・県直近1週間の陽性者数 平均576人/日
- ・感染対策指導員 6月目途に次回訪問を開始予定

【市民福祉部】

- ・無症状者に対するPCR検査助成金の申請状況について(R4累計191件)
- ・新型コロナまちなか簡易検査センターの実績について(累計 古川1,201件、神岡521件、河合34件、宮川33件)
- ・薬局における検査キット購入助成(累計1,398人、3,906個) ※5/23~協力薬局1店舗追加

- ・新型コロナ宿泊療養施設の状況について(現在入所者56名)
- ・新型コロナまちなか簡易検査センター
 - 古川会場:改修工事完了、神岡会場:5/23~改修工事、仮設会場(神岡町保健センター)
- ・5/20 政府発表「マスク着用の考え方」について、市民に分かりやすく周知
- ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外及びひとり親世帯分)の低所得子育て世帯分)交付申請手続き、
- ・厚労省通知「マスク着用の考え方及び就学前児の取り扱いについて」各施設に周知(5/23)
- ・幼児・児童のマスク着用に関する飛騨市民病院 中林先生への意見照会について(報告)
- ・小児集団は咳エチケットなどの感染抑止行動が難しく、潜在的なリスク集団と考えられる。
- ・兄弟姉妹がいる家庭は感染のハブとなり異なる集団への感染拡大を引き起こしやすい。
- ・飛騨市の12歳以上のワクチン接種率は十分に高くなっており、中学高校での感染抑止効果、会社など外部から家庭への持ち込み抑止効果が期待できる一方で、11歳以下の接種率は4割に達しておらず小児集団内の感染抑止には不十分である。
- ・こうした事から単純に着用する、しないといった二元論ではなく、動的な対応が望ましい。
- ・地域の感染状況が安定フェーズの場合は、マスク着用は任意。
- ・警戒フェーズにある場合は、換気良好な環境での活動を除いて原則マスク着用に切り替え。
- ・感染期フェーズにある場合は、屋外の低密度環境を除いて、2週間を目安にマスク着用に切り替え。
- ・このように地域の感染状況に応じて、迅速にローカル判断で頻繁に切り替えて運用することが肝であるというような助言をいただいた。
- ・現在の飛騨市の現状は安定フェーズと考えて良いのではないか。
- ・ただし、今後3回目ワクチンの予防的効果が薄れてきたり、新たな変異株が発生するなど、夏以降、新たな広がりがあるのではないか、このように中林先生が述べてみえた。
- ・新型コロナウイルスワクチンに係るコールセンターの対応状況について(週計43件、予約4件)
- ・ワクチン接種状況について
- ・高齢者交通費支援 先週実績なし(タクシー:累計1,563件、バス:累計393件)
- ・予約案内・確定ハガキを順次発送
- ・市ホームページに4回目接種のあらまし(接種方針、今後の流れ等)を掲載
- ・4回目接種に関する意向調査発送(5/20)
- ・5/19 医師会理事会での協力要請を受け、医師会より接種協力医療機関(10 医療機関)の報告あり
- ・6月第1週分の3回目接種予約(ファイザーのみ) 予約可能枠166(うち金土132)に対し予約受付42
- ・VRSデータの確認・修正作業継続
- ・随時申込者の接種区分ごとの管理
- ・3回目接種可能被接種者数と接種枠の調整
- ・返送された意向調査票から順次集計作業
- ・高齢者入所施設入所者の接種意向確認集計及び接種日程等の調整
- ・3回目未接種者等への接種勧奨
- ・ワクチン入荷の情報収集

※ワクチン接種に関する情報は、市ホームページ「新型コロナウイルス特設サイト-新型コロナウイルスワクチン接種推進室」をご覧ください

【農林部】

- ・JAひだの販売状況報告(5/10現在のほうれんそう状況)
- ・販売量143,846箱(R3比59%、R2比64%、過去10年平均83%)
- ・平均単価1,879円/箱(R3比105%、R2比97%、過去10年平均98%)
- ・豪雪による残雪や低温により出荷量が少ない。

【商工観光部】

- ・事業者向け検査キット購入補助制度(累計5件)
 - ・団体懇親会補助制度(累計56件)
 - ・返済ゆったり資金等への利子補給
 - ・物価高騰対策としてプレミアム商品券の発行を検討中
 - ・資金繰り対策として、信用保証料補給制度の創設を検討中
 - ・飛騨漬けキャンペーン 飛騨漬けガチャ利用者300名(4/23~5/22)
 - ・あんしんバス旅応援事業 累計37台
 - ・宿泊施設無料検査体制整備 登録2社、うち1社プレス取材(5/24)
 - ・市内宿泊動向等
 - ・5月、6月の週末は満館の宿もあるが、平日はあまり予約が入っていない。
 - ・県キャンペーンが6月30日まで延長されたが、既に予約されているお客様への連絡など手間がかかるため、キャンペーン期間は長めに設定し発表してほしいとの声は大きい。
 - ・近隣県に対象が拡大したが、バスツアー割引については県内発着限定となっているため、県外発着も対象にしてほしいとの声がある。
 - ・夏休みに向けた誘客対策
 - ・合宿需要の獲得に向けた旅行会社への営業
 - ・アウトドア情報の発信強化
- ・市内の商工業等の状況(5/12~19)

交通系

- ガソリン 売上自体は、大きく影響は出ていない。単価は高騰しているが、大きなトラブルは無く、お客様の理解のおかげと感謝している。
- 運輸宅配 特に変化なし。
- タクシー 夜の利用は、土日が少し、平日はほとんどない状況が変わっていない。昼間は変わらず買物や通院の利用はある。奥飛騨温泉郷の予約について、ゴールデンウィークの利用は今一つだった。今までの厳しい状況を盛り返すだけの売上が無いので夏休みに期待したい。

飲食系

- 食堂 変化なく横ばいと言ったところ。
- 居酒屋 地元の客は少ない。県外からの客がほとんどで、近くの宿泊施設の泊まりの

客が利用される。20時30分以降利用はほぼないため、勤務時間を短くしたり、10時30分で営業終了するなど対応している。2/3の商品は6月から仕入れが上がる。メニューは5月から値上げした。2割ぐらい仕入れが上がっている。

- スナック 相変わらず常連客中心の来客。飲みに出ても早く帰る人が多いのは変わらない。
- バー 連休以降、日によっては割と賑わう日もあるが、まだまだといった感じ。
- 喫茶（町なか）GW 最初の3連休は雨天のためお客さんの入りが鈍かった。5月3日以降は好天に恵まれ、コロナ前と同じような忙しさになった。
- 喫茶（神岡）連休は前半多く、後半少なかった。テイクアウトは変わらず。昼間の客も増えてきている。夜の予約も少しずつ入り始めた。テイクアウトの値上げに踏みきったが、ここにきて野菜等が更に値上がりしてきている。何度も値上げはできないので、メニュー等を検討して対策するしかないと考えている。
- 宴会仕出 4月は縮小でも祭りがあったからか注文が前年と比べるとやや多かった。祭りシーズンが終了してから（5月のGW後から）は注文数がやや減った。今は家族での法事用や部落での集まりの際に少し注文が入る程度。魚系統は戦争の影響で飛行機が飛ばせないため全体的に値上がりしている。（特にサーモン）野菜では玉ねぎが値上がりした。常連さんからの注文が多いため、値段をあげるとすぐ分かってしまうから材料の値段が上がったからといって弁当の値段に反映できない。最近は少しずつ高山からの注文も入るようになった。今は広告宣伝よりお弁当の中身にお金をかけたいと思っているので、ロコミなどで地道に新規のお客さんが増えているのは嬉しい。

小売系

- 衣料 相変わらず変化なし。祭りも行われ、ゴールデンウィークも観光客は多くなったようだが、変化はない。寒暖差があり洋服の展示も難しい。また、中国のロックダウンの影響でメーカーの仕入れも思うようになくなってきている。コロナから始まりこの情勢がどうなるのか不安。国の補助金申請をし助かった。
- 総合衣料（古川）古川祭が行われ、足袋・提灯が少し出た。高校で三年ぶりに球技大会が行われ、Tシャツ（印刷含む）の注文があった。少しずつ世の中が動き出している様子。これからを期待したい。
- 総合衣料（神岡）同級会などの昼間の宴会が戻りつつあるので、衣料の売上も少し戻ってきている。団体旅行なども戻ってきてくれると売り上げの好転材料になると思うので、今後を期待したい。
- 酒小売（古川・町なか）4月は祭りもあり売上あったが、5月はあまりよくない。配達も少ない。5月は行事もなく田植などで例年売上少ない。懇親会補助制度の利用あり助かった。配達少なく車の利用も減っており、ガソリン使用量も少ないため原油高の影響はない。
- 酒小売（神岡）ゴールデンウィークは帰省客で少し売り上げも上がったが、飲食店の方はまだまだという感じ。少しずつは戻ってきてはいるが。ホイップクリーム、

小麦粉等の値上げによりやむなく人気のサンドウィッチも値上げを敢行した。元々安いとの評判だったこともあり、大幅な値上げにも評判は悪くならなかったのが救い。

- 食料品 変化なし。
- 食料品（神岡） ゴールデンウィークは市外に出る人が多かったせいか、客足はいつもよりわかった。コロナ禍が緩み市外に出る人が増えると売り上げが下がっていく。
- スーパー ゴールデンウィークはありがたいことに売り上げも伸びた。青果の売り上げの伸びが良かった。いろんな部門の商品が値上がりしており、その対応が大変。
- 自動車 自動車減産の影響で納期遅延は状況が改善しない。部品等の値上がり影響が大きくなっている。
- 電化製品 特に変化なし。
- 菓子製造小売(古川) ゴールデンウィーク中は、観光客も多く町全体がにぎやかだった。観光課の「飛騨漬け」で来店されるお客さんもいた。また、飛騨市ファンクラブの方も多く来店された。GW 明けは、例年田植えなどで地元の方はいったんひっそりする。
- 菓子製造小売（神岡） ゴールデンウィークは、それなりの人出もあり、売上もそれなりにあった。コロナ前の5、6割程度には戻った感じ。和菓子なので、小麦粉等の使用が少なく影響も小さいが、包装紙・菓子箱等のお菓子以外のところで結構値上がりが起きたので価格の値上げを余儀なくされた。まだまだ、いろんなものが遅れて値上がりしてきそうで不安。
- 土産物（古川） ゴールデンウィーク、3・4・5日は多くの観光客でにぎわった。体験コーナーが人気で売り上げも伸び、ありがたかった。その他の土日も暖かくなってきたのでたくさん来客がある。6月は梅雨の季節で例年売上は伸びないので5月中にたくさん来客があるといい。
- 土産物卸 ゴールデンウィークは個人旅行がかなり増えたので、コロナ前の7,8割の売上があった。
- 道の駅売店 ゴールデンウィークの前半は期待どおりの来館者だったが、後半は伸び悩んだ感じがした。全体としてはまあまあといったところ。原材料高のため土産物中心に単価の値上げにつながっている。値上げがどの程度売り上げに影響したかはわからないが、近年コロナ禍での土産物買い控えも相まって土産物の売上は、全体の割合としては減っている。
- ホームセンター 特に変化なし。

サービス系

- 理容 特に変化はなし。お客様が減ることもなく現状維持。
- 美容 GW明けからお客さんが少しずつ増えた。（まん防や緊急事態宣言など外出制限となるようなものが出ていないので外に出る人が多く、身なりを気にする人が増えてきたのでは？）
- 自動車板金 先月から修理の依頼は多く忙しい。材料の値上もあり利益は減っている。

- そろばん塾 教室の景況は変わらない。換気はしっかりしているが、子供たちは慣れが出てきている様子。今一度、手の消毒など生徒たちに声掛けをしなければいけない。
- 治療院 あまり変化はない。
- 接骨院 変わらずコロナの影響はまだまだあるようで、施術を受けに来る客は少ない。

製造業

- 薬品製造 先月と変わらず業績はいい状態が続いている。受注は増加傾向。
- 自動車部品製造 減産の影響がでている。トヨタの減産の影響が大きい。6月に増産すると予測されるが対応しきれない。材料高についてはメーカー側で大量購入により支給されているので現在のところ影響は少ない。今後、高騰すると予測している。パッキンなどのゴム系の小さな部品、電線の高騰や機械修理用の部品等の納期の遅延が心配。
- 受託粉砕 先月と変わらず調子は悪くない。2、3ヶ月は良くもなく悪くもなく推移すると予想している。資格補助は大変ありがたい。活用させてもらう。原料高の影響が続いている。設備修理用の部品の納期遅れで影響がでている。
- 鉱業 特に変化なし。働き手確保には苦慮している。電力料金高騰が続けば業績悪化懸念あり。一方で金属価格が上昇しているので収益にはプラス作用している。円安はプラスに働いている。
- 自動車関連 中国のロックダウンによるトヨタの生産停止の影響が懸念材料である。鉄粉高騰、LPG 価格高騰、電力高騰の順で影響を受けており、価格に転嫁出来ないのが厳しい。更に円安傾向が続いているので回復の兆しが見えない状況。ロシアによるウクライナ侵攻により建設機械（コマツ）への影響が出始めている。

金融機関

- ・仕入値上がりの影響により、企業は融資対応ではなく設備投資先送りにより手元資金の温存に努めている感がある。
- ・コロナ関係資金の借入増大により、今年度の追加借入に慎重な様子が見受けられる。
- ・先月にデイサービスで1件条件変更があった以外は、特段条件変更の相談はない。
- ・4月の年度始まりの資金需要以降、GW 前後の融資申込が少ない状況。食品製造業を除く製造業については内部留保に余裕があり、手元資金で対応している。
- ・期初融資が一段落した。GW 前後の融資申込は落ち着いている。
- ・事業者から 200 万円の原油高対策融資は好評であった。やや大規模事業者向けに 500 万円を限度とするものがあれば、金融機関としても大変ありがたい。
- ・手元資金には余裕がある先と、コロナ前から経営が苦しい先に二分されている。返済ゆったりの制度は有効活用してもらう。

今後の対応

- 生活支援
全市民を対象としたプレミアム付き商品券の発行について検討

プレミアム商品券と連動した商店や商工団体への販促支援を検討

○融資関係

返済ゆったり資金信用保証料の補給

【教育委員会】

・学校の出欠情報

5/23 欠席56名 出席率96.3%

5/24 欠席41名 出席率97.4%

・部活動関連、合同部活動などで陽性の疑いがあったが検査の結果、陽性者なし

・5/19 古川中学校体育祭は生徒、保護者の導線を分けるなどの対策を講じて実施

・6月には河合小学校、神岡小学校運動会を予定しているが、同様に感染対策を講じて実施予定

・今後、学校における熱中症が懸念されるためマスクを外すことについて、指導の徹底と保護者への周知を行いたい

・部活や体育などの運動時、登下校にはマスクを外す事など、特に小学校低学年児童は自分で判断することが難しいので、暑い時間帯に下校する時などは、マスクを外し、できるだけ静かにして下校するよう指導していきたい。

【病院事務局】

・無症状 PCR 検査実施件数(4月累計:52名、5月累計:21名)

【河合振興事務所】

・新型コロナまちなか簡易検査センターの実績について(累計 34件)

【宮川振興事務所】

・新型コロナまちなか簡易検査センターの実績について(累計 33件)

・マスク着用について市民より問合せ有り。今後の問合せについては、政府の方針と同様の回答でよいか。

【ワクチン接種推進室】

・テレビ報道での街頭インタビューを見ると、屋外でマスクを外す事について、周りの目を気にしている方が多い。

・マスクを外した事により誹謗中傷がなく、周りの目を気にすることなく国の方針どおりに、マスクを外せるような周知、働きかけ、方法等、ご意見をお聞きしたい。

【総合政策課】

・マスク着用について市民周知を検討中につき、改めて相談する。

・基本的には国の方針に沿った対応

【市長】

・子どものマスク着用はコロナ初期から様々な議論あり。

・これまで専門家の感染症の分析と現状の調査、研究によるエビデンスに基づいた方針を市は尊

重してきた。

- ・市独自の方針を出すだけの医学的調査できない、そのような立場でない。
- ・国はマスクをしないでください、とは言っていない。
- ・市独自でメッセージ出さない。
- ・政府の考えがあるので、「政府の方針に従ってこう行動してください。」といった発信になる。

3. 今後の方針について

- ・国の基本的対処方針にてワクチンの効果について言及されている
- ・オミクロン株への感染予防効果、発症予防効果がデルタ株に対して低い
- ・ワクチン1回目、2回目の効果の減少が3回目接種により一時的に回復
- ・一方、ワクチンの3回目接種について、感染予防効果は短期間でしかみられなかった。
- ・感染予防効果に関して政府の言い方が、感染予防効果があると言わなくなっている。
- ・今後ワクチン4回目接種について市民から問い合わせがあると思うので、政府の公式見解を確認してほしい。
- ・ワクチンは重症化予防効果、入院予防効果である。
- ・これから外作業、草刈り等が増え、外作業時におけるマスク着用について問い合わせが増えてくるので、区の草刈り等の行事をとらえてうまく発信してほしい。
- ・事業者向け検査キット購入補助制度について問い合わせが増えているようで良い事であるが、限度額等、必要に応じて見直しを行い、商工会、商工会議所等を通じて再度周知すること。
- ・会食前の検査の重要性、呼びかけを。
- ・会食実施直前のまちなか簡易検査センターや自宅での抗原定性検査キットによる検査。
- ・家族の感染の場合、遅れて発症するケースが散見されるので、1回の検査で安心することなく、複数回検査することの重要性について市民へ情報発信すること。

4. その他

- ・岐阜県新型コロナウイルス対策感染症対策協議会 5月30日(月)11時～
- ・次回会議開催予定:対策本部会議 令和4年6月1日(水曜日)8時30分～